

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
1	第1章	P.1,2	4. 用語解説	具体的な食物の名称も例として記入してほしい。	何が原因なのか分かりにくい。	用語解説『即時性』『口腔アレルギー症候群』『食物依存性運動誘発アナフィラキシー』のそれぞれの項目に代表的な原因食材を追記する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
2	第2章	P.3 (P.10)	1. 学校給食における食物アレルギー対応の基本方針 (1. 除去食の対応について)	原因食品の二者択一にしてほしい。 原因食品を「提供しない」「提供する」のどちらかとする。	過度に複雑な対応は避け、原則としてアレルギー食品を提供しない、あるいはアレルギー食品を含まない代替食を提供する「完全に除去」を基本とすることで安全性を高めるため。	令和9年実施の際、P.3の基本方針の、『・安全性確保のため、原因食物の完全除去対応を原則とする。』を『・安全性確保のため、原因食物の完全除去対応とする。』に変更する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
3	第2音	P.7~8	3. 教職員・関係者の役割	校長、教頭、学級担任の役割に「個別面談に出席し、アレルギー物質を含む食品や症状、家庭での除去食の状況等を把握する。」を追加してほしい。	P12表内の④⑤で面談参加メンバーに管理職が明記されているため。また保護者との面談内容は児童に携わる職員が直接把握しているほうが認識の齟齬がなく、円滑な対応ができるため。	校長、教頭、学級担任、養護教諭、給食担当(栄養教諭・学校栄養職員等)の役割に『個別面談に出席し、アレルギー物質を含む食品や症状、家庭での除去食の状況等を把握する。(管理職・養護教諭・栄養教諭等、2名以上で面談)』という文言を追加・修正する。

意見番号	【A】食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】ご意見・改善点	【C】ご意見・改善を行った方がよい理由等	【D】対応案
4	第2章	P.9	※成分配合表 (和泉市学校 給食会 成分 表など) ...	HPにも記載されていることについて追記してもいいのではないか。(市統一物資の成分表について)	配布献立には、二次元バーコードはついていないが、担当者が変わった際に保護者への伝達もれもあるかもしれないので周知するため。	養護教諭・給食担当(栄養教諭・学校栄養職員等)の役割の文章を『食物アレルギー対応を行う児童・生徒の保護者に食物アレルギー物質を含む食品が明記された個人別対応献立表及び必要に応じて”ホームページ上に掲載されている”成分配合表にて、チェックをしてもらい、確認する。』に記載内容を変更する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方がよい理由等	【D】 対応案
5	第2音	P.14	2. 具体的な食物アレルギー対応のながれ 【手順2】翌月の給食対応に向けた準備	栄養教諭がない学校では、他の教員が個人別対応表を作成していますので、毎月の除去食がどのメニューに設定されているのかがわかりません。確認がすぐできるように、例えば個人別対応献立表の左上のアレルギー食材の注意書きが記載されている黄色のマスに今月の除去食などと入れていただくと助かります。	毎月の除去食を調べるために、pub内の給食ファイルなど深いところまで探しに行くため	調理員等が使用する実施献立には、乳除去食、卵除去食の記載があるが、配布献立にはないため、個人別対応献立表に除去食実施日について記載を追加する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
6	第3章	P.14	①の1つ目の※ ※『成分配合表』は希望する…	現状、市HPへの案内になっている	※各校献立変更等で市HPに掲載のない物資がある場合は、各校で成分配合表を確実に家庭に配布する	『※『成分配合表』は希望する家庭に配布』の記載を、『家庭には、ホームページ上に掲載されている『成分配合表』の確認依頼をする。また、献立の変更等で市HPに掲載のない物資がある場合は、各校で成分配合表を確実に家庭に配布する』に変更する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
7				<p>献立名欄にマーカを引くのは、「除去食」としてではなく、「対応が必要と思われる献立」としてすべてにマーカを引くほうが良いと感じます。 その上で、除去食となる献立の口欄に「除去食」と記載すれば、保護者もマーカが付いた献立に対して返事がしやすくなると思います。</p>	<p>「除去食」にはマーカを付けることになっていますが、献立名欄の飲用牛乳にもマーカを付けたり、対応が必要と思われる食材にマーカを引いたりするため、保護者には少し分かりにくいのではと感じます。特に、保護者に返事をもらう献立名にマーカを付けず、食材にだけマーカが付いている状態では、どの献立にその食材が含まれているかが分かりづらく、特に大豆のように多くの献立に使われている場合は確認が大変になると思います。</p>	
8	<p>第3章 P.14 2. 具体的な食物アレルギー対応のながれ 【手順2】翌月の給食対応に向けた準備</p>			<p>保護者が個人別対応献立表を確認する際、除去食を提供するメニューには×欄に塗りつぶしがいらす、食べることができないメニューは×欄に塗りつぶしがいるという違いがわかりにくいようです。除去食メニューも食べることができないメニューも確認のために塗りつぶすなど、チェック方法の変更があるとよいと思います。</p>	<p>保護者のチェック漏れや塗りつぶす欄の間違が多いと多く、毎月個別に電話連絡をする必要があるため。</p>	<p>現在、除去食および食べられない食材にラインが引かれているが、除去食→青色ライン 食べられない献立→ピンクのラインとし、ピンクのラインが引かれた献立のみ、保護者に代替え食の欄に「○」「×」を記載してもらおうのはどうか？</p>
9				<p>個人別対応表の保護者チェックについて除去食がある場合も何らかのチェックがあるといいのではないのでしょうか？</p>	<p>保護者が確認し、除去食があることを認識していただいているかが分かる</p>	
10				<p>個人別対応献立表について、除去食が提供できるものに関しては、料理名にマーカだけでなく、除去食という表示があったほうが良い。</p>	<p>保護者やアレルギー対応経験が少ない担任でも一目でわかりやすい</p>	
11	<p>対応内容</p>			<p>除去食対応をわかりやすく</p>	<p>除去食がある場合とない場合がわかるよう、チェックの口を増やしてほしい</p>	

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
12	P.15	③食物アレルギー個票を作成する	主な担当者が栄養教諭等になっているが養護教諭も入れてほしい	栄養教諭1人だと見落としがあるかもしれないので養護教諭とダブルチェックができる体制がほしいため	栄養教諭等が不在校の実務は養護教諭が担っている場合が多いと想定されるため、主な担当者：に『養護教諭』の文言を追加する。	

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方がよい理由等	【D】 対応案
13	P.15	【手順4】給食 提供日の対応 ◎教室での配 膳	飲用牛乳は児童が配膳するため、誤配を防ぐために児童の机に「牛乳のみません」と書いた札を貼るなど、他の児童にも視覚的にわかるようにした方がよいと思います。	特に低学年は誤って配膳してしまう可能性が高く、これまでも机に札を貼って対応しているため。	特に低学年は誤って配膳してしまう可能性が高く、これまでも机に札を貼って対応しているため。	サンプルのカード（案）を事務局にて作成

第2音

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
14	第3章	P.16	⑥食物アレルギー個票の貼り付け、除去食の配置 ※除去食に異物が入らないように～ラップ等で蓋をし～	アレルギー用の食器、蓋等がはいびされたので、ラップの記載はなくしてもいいのではないかと。	すでに、食器具も配備済みかつ異物混入の恐れをより低くするため	除去食については、専用の容器および蓋になったため『ラップ』の文言を削除する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
15	P.17	⑥『食物アレルギー個票』の貼付及び除去食の配置	除去食提供時以て個票に『調理者又は貼付者』のチェックについて記載がないため、除去食以外ではチェック不要にも読み取れる。	運用開始時、どのタイミングで個票に名前を入れるのか、貼り後は名前を記入しにくいいためチェックでいいのでは等の様々な意見があったため		除去食がない場合でも三者のチェックが必要なため、P.17の◆除去食以外の提供しない食品がある場合（チーズ、ココアクリーム）に『※確認ができたら、確認者は『食物アレルギー個票』の「給食室」確認欄に名前や✓等を記入する』という文言を追加する。 P.18㊟教室での配膳の担任欄に『提供しない食品が誤配されていないか確認する』と㊟喫食前の確認に『※『個人別対応献立表』を見て、適正に除去食又は持参した代替食が配膳できるか、提供しない食品の誤配がないか最終確認を行う』と記載する。 チェックをするタイミングによっては名前を記載しにくいこともあるため、記名ではなく、チェックのみでも可とする。

第2音

意見番号	【A】食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】ご意見・改善点	【C】ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】対応案
16	第3章	P.18	2. 具体的な食物アレルギー対応のながれ 【手順4】給食提供日の対応	<p>※ 食缶等に貼付されていた『食物アレルギー個票』を外し、専用ファイルに貼付する（各教室で保管する）→保管期間を明記する</p> <p>アレルギー個票は担任保管であるが、ちゃんと保管されているかどうか、学期末にチェックするようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生からいつまで保管するのか聞かれたため</li> <li>・食缶に貼ったまま返却されていたり、ちゃんと保管されていなかったりしているところを見たため</li> </ul>	<p>保管期間について、1学期単位とし、最終、食物アレルギー担当者等が保管状況について確認を行う。（廃棄する際は個人情報の取り扱いに注意する）</p>

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
17	第3章	P. 15	2. 具体的な食物アレルギー対応のながれ 【手順3】 給食提供日前日までの対応	食物アレルギー個票の作成について献立の下に、アレルゲンを表示してはどうか？	担任以外が給食指導に入った際にもわかりやすい	
18		P. 15	対応内容	個票に食品の欄がほしい	どの児童生徒がなんのアレルギーなのか、多岐にわたり、調理員が混乱することがある	要検討。R5の食物アレルギー検討委員会においても意見があったが、アレルギー食材がすべて記載されたうえで該当のアレルギー食材のみ色付けされるもので、情報量が多く見にくくなるということで現在の案（4ページ【参考】参照）になった。今後の案として、現在の個票に各校にて『個人別対応献立表を見てアレルギー食材を手書きにて転記してもよい』とするか。
19		P. 16～18	【手順4】 給食提供日の対応	個票に献立名だけではなく、食品、食材名を反映させて欲しい	担任が欠席の時、副担任が給食時に対応するため、個人のアレルギーを把握できていないこともあり、事故が起きないようにしたいため	
20		P. 18	2. 具体的な食物アレルギー対応のながれ 【手順4】 給食提供日の対応	食缶に貼付されていた個票をすぐにファイルに貼付するのではなく、給食時間中は黒板等誰が見てもわかる場所に添付してはどうか？	担任以外が給食指導に入った際にもわかりやすい	給食時間に黒板等所定の場所に貼付することは事故防止につながるため場所について検討する。案として『給食喫食中は個票を正面黒板の廊下側に掲示し、喫食後専用ファイルに貼付する。』と追記する。

意見番号	【A】 食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】 ご意見・改善点	【C】 ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】 対応案
21	第4章	P. 25	C エピペンの 打ち方	エピペンの打ち方の動画を二次元バー コードで表示してほしい	養護教諭だけではなく、担任や副担任も対応 しないといけないので、動画があるほうがわ かりやすいため。	文部科学省よりエピペンの打ち方の動画が YouTubeにてアップされているのでマニュアル に掲載
22		P. 29	経過記録表	作成する	東京都のマニュアルの流用のため文字が読み にくい	再度、東京都のものを参考にExcel等で作成、 もしくは、大阪府教育委員会のものが他の資料 も見やすいため、大阪府教育委員会のものに 変更
23	様式1裏 面	希望する対応 内容		①記入方法の参照があればわかりやす い。 ②食費返金の等の申請書類が別途あるの 説明文に「返金の基準を満たしている家 庭のみ」という言葉を付け加えてはどうか	①面談で説明しているが、一定数記入方法を 聞いて来られる保護者がいるため ②この表記では様式1を記入した人全員が返 金対象となることを防ぐため	①様式1の記入例を作成 ②『返金については別途定められた基準に沿っ て対応させていただきます。』等の文言を入れ る

意見番号	【A】食物アレルギー対応の手引き ページ数 見出し・本文等			【B】ご意見・改善点	【C】ご意見・改善を行った方が良い理由等	【D】対応案
24	様式2 様式5		対応内容 学校生活管理 指導表（ア レルギー疾患 用）	保護者記入欄を色付け、枠囲みなどし て目立たせたいので、保護者記入欄である ことが分かりやすいようにしてほしい。 記入方法の参照があればわかりやすい。	面談で説明しているが、一定数記入方法を聞 いて来られる保護者がいるため 例年非常に記入もれが多くなっているため。	様式の記入例を作成する。
25	様式9		3アナフィラ キシー・アナ フィラキシー ショックを起 こしたことは ありますか	原因食品記入欄を追加してほしい	アレルゲンが複数ある場合、アナフィラキ シー原因食品をわかりするため	原因食品記入欄を追加する。
26				今年度、「ナッツアレルギー」で新たに2名、エピペン所持となりました。給食では ナッツは提供していませんが、「学校生活での管理」を希望されたため、学校生活管理 指導表とエピペンの書類を提出してもらいました。給食におけるコンタミについては対 応できないことを了承済みです。 ナッツアレルギーが増加している中で、今後給食でナッツを使用することも考えにくい ので、ナッツに関しては「使用しません」と記載しても良いのかなと考えます。（コンタ ミ対応ができないことの周知が絶対条件になりますが）		手引きの中に、『「そば・落花生・かに・くる み・アーモンド・あわび・いくら・カシュー ナッツ・キウイフルーツ・バナナ・まつたけ・ やまいも・生卵・半熟卵・生魚」は使用しませ ん』の文言を追加する。
27				ナッツアレルギーのように、給食では出ないが、それ以外での学校生活での管理を希望 される場合があります。マニュアルの名前を「学校生活における食物アレルギー対応の 手引き」として、学校生活全般のアレルギー対応とするのは難しいでしょうか。		現行の手引きは『学校給食』に要点をまとめた 食物アレルギー対応についての手引きとなっ ているため、学校生活全般のアレルギー対 応の手引きとするのであれば、手引きの 名前を変えるだけでなく内容についても 検討・変更する必要がある。